

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年05月10日

計画の名称	東員町社会資本総合整備計画（地域住宅計画）												
計画の期間	平成27年度	～	平成30年度	（4年間）									
交付対象	東員町												
計画の目標	安全で快適な住まいを長期間いわたって確保するために、機能回復や予防保全の観点から修繕や改善により一層の定住促進を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	37	A	37	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）												
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値											
		当初現況値	中間目標値		最終目標値								
			平成27当初	平成28末		平成30末							
1	耐用年数が1/2以上経過した町営住宅改修割合を60%（H28）から100%に増加する。 当計画期間内における東員町公営住宅等長寿命化計画の達成率の増加 （達成率）＝（改善済み戸数）÷（東員町公営住宅等長寿命化計画に定める事業予定戸数）	20%	60%	100%									

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業															個別施設計画				
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
地域住宅計画に基づ く事業	A15-001	住宅	一般	東員町	直接	町	—	—	公営住宅等ストック総合 改善事業 (A-1)	大木団地外壁、屋根改修、住 戸内改修 (5棟20戸)	東員町	■	■	■	■	37	—	策定済	
												小計				37			
													合計			37			

事後評価		
○事後評価の実施体制、実施時期 事後評価の実施体制 東員町にて実施	事後評価の実施時期 計画期間終了後（令和元年5月10日）	公表の方法 ホームページにて公表
○事業効果の発現状況		
町営住宅の外壁・屋上防水改修、住戸内改修を行うことにより、町営住宅の安全性・居住性の向上と既存ストックの長寿命化を図った。 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		
○特記事項（今後の方針等）		
今後も、計画的な改修により町営住宅の長寿命化を図り、良質な住宅ストックの確保、住民の安全性・居住性の向上に努め、誰もが安心して快適に住み続けられる住まい・まちづくりを実現するために計画的に事業を推進していく。		

(参考様式3) 参考図面 (地域住宅計画)

計画の名称	1 東員町社会資本総合整備計画 (地域住宅計画)		
計画の期間	平成27年度	～ 平成30年度 (4年間)	交付対象 東員町

